

2021年第33回公演における新型コロナウイルス感染防止対策について

函館野外劇の会

【概要】

2021年第33回函館野外劇公演の開催にあたり、新型コロナウイルス感染防止策について、下記の①～②に示されるガイドラインに従った施策を講じる。

- ①文部科学省の「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に対応した措置を講じる。
- ②北海道の定める「イベント等の開催制限について」に対応した措置を講じて北海道スタイルを実践する。

具体的施策は下記の通り。

1) 受付窓口

スタッフ・キャスト用に最上寺に受付窓口を設置。当日参加者は必ずここで①～⑥に記載の項目について対応していただく。

入場者用に受付テントに窓口を設置。当日の入場者にはここで①と②と⑤の項目に対応していただく。

- ①当日のスタッフ・キャリア・入場者の記録(氏名と連絡先を用紙に記入)
団体さん、セリフ・殺陣・ダンス各チーム、本通町会さんは使用中の参加者名簿を提出
- ②入場前の検温・除菌
- ③後述の役割別(色別)マスクの受け取り
役割別(色別)のマスク箱を机上に並べておくので使用者自身が引き取る
※マスクブラケット希望者は自身で引き取り
- ④終演後に使用したマスクを自身で指定の箱や袋に捨てる
- ⑤COCOA(厚生労働省の接触確認アプリ)のインストール(手順掲示・資料)
- ⑥その他コロナ対策外(手渡し時手袋着用)
 - ア)飲み物の受け取り
 - イ)駐車券の受け取り
 - ウ)ひざサポーター受け取り(転倒等によるケガ防止のためサポーターを着用)

2) コロナ対策(一部上記内容と重複)

- ①スタッフ・キャスト・入場者の名簿の作成(感染者発生時の接触者トレースを可能にするため)
- ②スタッフ・キャスト・入場者の健康状態チェック(自己申告)と体温測定
(異常者の入場禁止)
- ③スタッフ・キャスト・入場者の入場前のアルコール等による除菌
- ④観客席やスタッフ・キャスト使用のイス・机などの除菌作業(毎公演前)

- ⑤衣裳の除菌(毎公演後吊るした衣裳にスプレーで除菌剤を散布および天日干し)
- ⑥衣裳部屋を4か所程に分散設置(3蜜回避)。各衣裳部屋の定員を明確にし蜜を避ける
- ⑦衣裳部屋、衣裳テント、カクシデントなどの換気状態のチェックと換気
(CO2 濃度測定器を設置し、基準を超えた場合には強制換気など決められた手順を実施)
- ⑧スタッフ・キャスト・入場者全員のマスク着用
(スタッフ・キャストは役割が識別できるよう役割毎に色を指定する、マスクは事務局で受付に用意)
 - ・殺陣＝黒、・和人＝白、・セリフ＝ベージュ、・団体＝ベージュ、・ダンス＝ピンク、
 - ・コロポックル＝緑、・スタッフ＝黒
- ⑨使用した舞台道具・機材の除菌(使用者自身)
- ⑩立ち見客に対する場内誘導員によるソーシャルディスタンス確保メッセージボードの掲示と声かけ
- ⑪キャスト・スタッフ・入場者相互のディスタンス確保